

第三十号

若 竹

神道青年 四国地区協議会 設立!



神道青年会の御問合せ、
会費納入等は

事務局 真鍋豊孝
〒790 松山市居相町 337
TEL 089-956-0321 FAX 956-3323

投稿、原稿、写真等の送付
「若竹」の御問合せは、

「若竹」編集局 飯尾真通
〒799-13 東予市円海寺 191
TEL 0898-64-0893 (FAX 兼)



神道青年 四国地区協議会設立さる

併せ、第一回研修会開催

八月二十三日、二十四日

神道青年会会員の皆様、明けましておめでとうございませす。

常日頃より、神道青年会活動に深い御理解と御協力を下さり、ありがとうございます。

昨年は、四国の神道青年会にて、「神道青年四国地区協議会」の設立が成されました。

九州地区、近畿地区などで既に地区協議会が設立されており、各地区の密な連絡や親睦がなされていますが、四国の神青にても、今後益々の四県一体の充実した活動が行われる事と存じます。

この四国地区協議会の主要な活動の一つである「研修会」が、設立記念式典に併せて行われました。

講演内容は、戦後五十年を迎えた事にちなみ、

「近代神社制度の再評価」として、國學院大学教授 阪本 是丸 先生

に御講演を戴きました。

当初は難しい演題のイメージでしたが、神職でもあられる阪本先生は、我々若年神職に現場の立場を含めて御講演下さり、充実した研修会でした。

両日は、四国各地より会員四十名を越える会員が参加、内、主幹県である愛媛県では、二十六名が参加、受け入れ県としてお世話をさせて戴きました。

この日のために北海道からお越し戴いた、北方神青協会長、全国各地よりお越し戴いた神青協役員各位、御来賓の県内宮司様、神青協OBの皆様、御厚く御礼を申し上げます。神青会員の皆様に深謝致しますと共に今後の御協力を御願ひ致し、御報告と致します。

尚、研修会は、以前より四国四県合同研修会として各県持回りにて毎年行っており、今後も参加者へは担当県の神社より神社庁研修所修了証書を発令下さります。

又、愛媛神青会会員がこの研修会に参加の場合は、参加費（例年二万四円弱）は、愛媛神青にて負担させていただきます。明年も、多数の皆様のお参加をお待ちしております。

神道青年

四国地区協議会

会員 四国四県の青年神職 全員

会長 藤本 久吉 徳島県

副会長 池田 博文 香川県
徳島県神青会 会長
神道青年全国協議会 四国地区 理事

愛媛県よりの役員 指名 理事

理事 武智 正人

真鍋 豊孝

飯尾 眞通

吉田 充興

柳原 幸

監事 柳原 幸

相談役・神青協出向委員 御田村 駿一



神道 四国地区協議会

設立 記念式典 第一回 研修会 報告

川之江市 三皇神社 熊本 真克

大東亜戦争終結から五十年が経過した今、我々は、神道人として悠久の昔より培われてきた日本民族の伝統と文化そして国体の重要性を改めて痛感せざるを得ません。

四国四県の神道青年会は、日々刻々と移り変わる時代の変化の中で「日本のこころ」を守り伝承し、又青少年の育成を始め、斯道発展の為自己研鑽を積み、諸活動に取り組んでいます。我々は、先人のこの荒廃した激動の時代に、山積みする諸問題に対処し「神ながらの精神」を以て何かつていかなければなりません。神道青年四国地区協議会を設立することにより、神青協に

対する充分な対処、且つ四県合同事業をスムーズに執り行い、四国の結束を再確認すると共に、相互協力、重要な情報



熊本 真克 君

交換の場になることを期待致します。又、國學院大學教授、阪本是丸先生による「近代神社制度の再評価」メインテーマの



御講演は、戦後急速な都市社会の拡大と、過疎地域の広がり、日本の伝統文化に背を向けた高学歴志向の教育実施、家族制度廃止による核家族化の二世代、三世代への変化の中で、女性の社会的進出による家族のあり方の諸問題、日本の歴史伝統を否定し、かつ信教の自由を隠れ蓑にして執拗な政教分離を煽り続けるマスコミの情報氾濫の内で、我々神社人にとって戦後五十年



間は最悪の逆境にもかかわらず、先人各位の伝統護持に対する並々ならぬ御尽力が、忍ばれます。戦後生まれの私にとつては大変になりました。為になつたという一言で済ませるべきではないが、私の神明奉仕の心得の一つとしていきたいと思えます。
私は、年に一度程しか出席していませんが、有意義な二日間でした。是非皆様方もお繰り合わせの上、出席してみたいかがでしょうか。

神道青年 全国協議会

夏季セミナー 参加報告

新居浜市 一宮神社 早田 雅雄



早田 雅雄 君

六月二十七・八日、神社本庁大講堂に於いて神道青年全国協議会の夏季セミナーが開催されました。

本年は、戦後五十年という節目に際し、全国より約百五十名が集い、「大東亜戦争終結五十年を考える」と題し、講師の先生方が各題目により、講演講義が行われました。「靖國のこころ（英霊に奉仕して）」靖國神社宮司・大野俊康先生は、「いざさらば我はみくにの山桜」本書こそ、まさに殉国学徒の留魂の書であり、警世救国の書々という事で、靖國のこころについて講演が始まり、国學院大學教授・坂本是丸先生は、「靖國神社の創祀と精神」と題して明治史上の靖國神社前身は、「東京招魂社」と言い、約百三十年前より、国の鎮めとしての皇室・国家・国民の篤い崇敬を受け、現在に至っている事を話されました。

青山学院大学教授・佐藤和男先生は「国際法より見た大東亜戦争」と題し、国際法の観点から見て、日本は合法的な戦争を正々堂々としたので、国会が謝罪する必要は全く無い。むしろ戦後五十年もたった今、謝罪ないし不戦決議というような愚行を考えた事自体を反省すべきではないか、と話されました。

國學院大學教授・大原康男先生は、「英霊祭祀を巡る今日の諸問題」と題し、GHQに因る占領政策と、靖國神社が、昭和天皇を始め皇族方のお気持ちと、国民が存続を願う声に依り、占領政策に屈さなかつた、という話をされました。

又、各單位会に於ける終戦五十年に対する取組の現状、各県護国神社で慰靈祭奉仕、報恩感謝祭等の計画を報告いただきました。

全体会に於いては國學院大學・上田賢治学長の総会司会の元、坂本是丸先生・大原康

愛媛県神道青年会
「若竹」印刷

首藤印刷所

愛媛県西条市大町一五一七一二
電話〇八九七―五五―二二八九

男先生も参加して、大東亜戦争五十年という年を地域の人々に如何に積極的に働きかける事が出来るかを挙げ、神青協の枠だけでなく、外部と意見交換をして取組んで行きたいと話し、研修会を終えました。

閉会式では、北方会長より全国十地区の代表者に、護国神社の英霊に報恩感謝の気持ちを捧げるための玉串料を手渡されました。

以上、二日間の講演、講義に参加して、神青協夏季セミナーの各單位会の代表として、各々がより強い意志を以て靖國神社での奉仕をされる事と思えます。

第十二回

「観月神楽の夕べ」

平成七年は、

県・護国神社にて開催さる。

宇和島市 和霊神社 吉田 充興



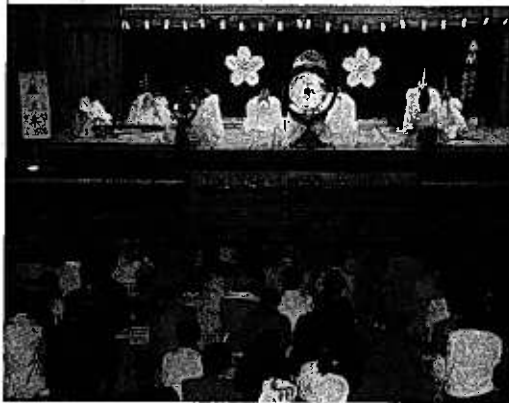
吉田 充興 君

去年九月十七日夕刻、愛媛県護国神社、神楽殿に於いて、神道青年会主催の「観月神楽の夕べ」が開催されました。超大型台風十二号の接近で心配された天候も、崩れる事無く予定通り執り行われました。

浦安の舞を始め、悠久の舞、越天楽等全九目が、厳かに雅びに響きわたり、また、本年終戦五十年目に当たり、御霊安らかに鎮まらんことを願い、式目の最後にみたま慰めの舞が奉納されました。



尚、この「観月神楽の夕べ」の開催に当たり、愛媛県護国神社様を始め、神青OBの諸先輩方には大変お世話様になりました。心より御礼申し上げます。



お守りの御下命は

水戸奉製

〒三一一一四
茨城県水戸市中丸町四八六一五
電話〇二九二一五二一七五六三
FAX 五五一一三三三二



装束祭具の御下命は

(有) 竹重

ツケ ジュウ

〒600 京都市下京区西洞院花屋町上ル
電話 (〇七五) 一〇三九四
FAX (〇七五) 三六一六九六六
振替口座京都六一二四三二

新人会員御紹介

馬越 和紀 君
カズノリ



松岡 弘文 君
ヒロフミ



奉務先 西条市 石鎚神社
住 所 西条市洲之内
甲一三七二―三

〇八九七一五三一九二五四
昭和四十年六月十四日生れ

この度神道青年会に入会させていただくことになりました
た山口県出身の石鎚神社権祿
宜、松岡弘文と申します。

趣味は食べることとドラマ
イブで、出歩くことの好き
な性格です。四国に引越して
来てまだ五ヶ月余りであり
ますが、早く四国の生活にも
慣れて、栄ある神青の一員と
して恥かしくないよう神明奉
仕に努力してまいりたいと思
います。
皆様方のご教導よろしくお
願い申し上げます。

お時間拝借

花療法

最近世間ではフラワーアレ
ンジメントが流行っています
が、最近では少し面白くなっ
てきました。
昔より、陰陽五行の思想に
基づいた考え方が生活の中
に取り入れられています。そ
の中には色合いについての物
もあり、我々神職の間でも装
束などに採り入れられていま
す。
又、「氣」の持つ力も最近
では俄然注目を浴びています。
そして我々人間を始めとする
生物も気を発している事は凝
う迄もない事実です。
皆さんは誰かに花束を贈つ
た事がありますか？貰った事
がありますか？贈るにしても
貰うにしてもその花を選ぶ時
はその相手の事を考える事と
思います。
花を贈る場合は、先ず花屋
さんへ行つてどんな花にする
か、そしてどんなアレンジを
して贈るかを考えるとと思いま



す。それは花屋さん任せだったり、自分の考えだったりします。そして場合に困っては花言葉なども考えた上で贈ったりもするはずで。

我々が生きているとの同様、植物も生きていますので、自ずから「氣」を発して生きているのです。

家庭の玄関に花が活けてあれば訪れた人は暖かさを感じるのでしようし、キャチンや手洗いにさりげなく花が活けてあれば一時の安らぎを得る事が出来ると思います。

東洋医学の世界では漢方薬として、様々な植物を利用して、成果が上がっています。そして、西洋医学の世界でも最近ではアロマテラピー（香り療法）ががぜん注目を浴びています。ハーブなどの流行は起こるべくして起こったのではないのでしょうか。

さて、色には々暖色々々寒色々々があります。そして、花にも々陽の花々々陰の花々々があります。これらを組み合わせ活かしたのが今回の「



花療法」なのです。

例えば、前回「伊予の椿」として取り上げた「椿の花」は靈力を持つ神聖な花木として愛され、又崇められてきました。この椿の花の発する氣には「強壯作用」があり、陽の氣を発しそばにいる者に元氣をもたらしてくれますし、今からが本番のシクラメンは、やはり、々陽の花々で、落ち込んだ時にエネルギーを補給して身心の不調を整えてくれます。また、ストレス対策には山茶花（さざんか）の花の清らかな氣と甘い香りが心を

リラックサさせ、優しい穏やかな気持ちにさせてくれます。

清浄を重んじる我々神職は、神前へ向かう時は常に心身共に清らかな状態であればならず、そんな時には一輪の花が慰めになると思います。

献花祭の行われている御社頭では、榊もですが、今までと違った目で観られては如何でしょうか。

最後にとっておきのお話をしましょう。

我々神職にとつてお酒は切っても切れない仲ですが、二日酔いに効く花があります。

なんと皆さんも良くご存じのあの々桜の花！々なのです。そして、それは痰を取り、咳を抑え、熱を冷まし、解毒をしてくれるのでぜんそくにも効果大です。

その他花によつては体の痛みや、高・低血圧、ジンマシン、更年期障害や肝臓病、果てには糖尿病と、ありとあらゆる病気に効果があるのです。どうか皆さん、生花と漢方薬と医者薬とを上手に利用して、生活上手になろうではありませんか。



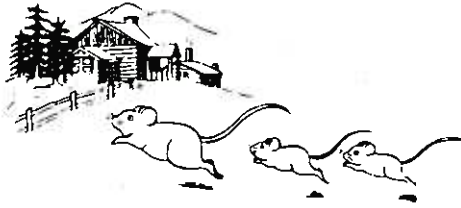
お詫びと訂正

若竹第三十号寄付者ご芳名に間違いがございました。紙面にてお詫びを申し上げ、訂正させて頂きます。

喜多浦八幡大神神社の宮司様が藤原様となっておりました。

馬越 祥穂 様

の間違いでした。誠に申し訳ございませんでした。



平成八年度

新年互礼会のご案内

日 時 一月二十三日 (火) 先負

(翌日は仏滅)

PM 六時三十分より

場 所 松山国際ホテルにて

松山市一番町一丁目十三

番〇八九一九三二一五一一

会 費 五千円

県内会員の皆様、明けましておめでとうございませう。

お正月の神前奉仕、御苦労さまでした。

まもなく、神道青年会の会員の懇懇親会、新年互礼会を開催します。

一応、スーツ着用ですが、堅苦しい会ではありません。

お正月の疲れを吹き飛ばす、会員の親睦会です。

気楽に、松山まで出かけてみませんか。

みんなで楽しく過ごしましよう。

御案内を全会員に出させて戴いています。

返信ハガキに出欠を御記入の上、御連絡下さい。

会員の皆様へ

年会費 五千円

納入のお願い

神道青年会の会費納入率が五割を切りそうな状況です。会の活動のため、ぜひとも会費納入をお願いいたします。

県内各神社の皆様方、神道青年会活動に御理解御協力を戴き、ありがとうございます。本年度もぜひ、御協力下さいますようお願い申し上げます。

愛媛県 神道青年会 会報

若 竹 年会費 五千円

事務局 二七九〇

松山市居相町三二七

伊豫豆比古命神社(椿神社)

電〇八九一九五六〇三三二

FAX 五六〇三三三三

編集者 二七九九一

東予市円海寺一九一 飯尾 眞通

電〇八九八八四一〇八九三

(FAX 兼)

会費振替

〇一六七〇一三三七三五八

愛媛県神道青年会